

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/10/13号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



90ドルを挟んで売買交錯が続く

NY原油先物相場は、1バレル=90ドルを挟んで売買が交錯する展開になった。強弱材料が交錯し、明確な方向性を打ち出せない展開が続いている。中東からの供給環境が改善傾向にあること、主要7カ国（G7）が1億バレルの石油備蓄放出を決めたことを受けて、9月1日以来の安値を更新している。トランプ米大統領が米中間選挙前のイランに対する攻撃を否定したことも、原油相場にはネガティブ。ただし、米国とイランの停戦協議には進展がみられず、高い先行き不透明感が下値を支えた。イエメン武装組織フーシ派のサウジアラビアに対する攻撃が続いていることも、原油相場にはポジティブ。結果的に90ドルを挟んで売買が交錯する展開が続いた。

トランプ米大統領は10月9日、ロシアが米国と世界市場向けにディーゼル燃料30万トンを直ちに供給することで合意したと発表した。また、11日にはロシアとウクライナの間で「エネルギーに関する停戦」が直ちに実施されると自身のSNSに投稿している。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（10月2日時点）は、原油が前週比319万バレル減、ガソリンが38万バレル増、石油精製品が4万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

供給環境改善が上値圧迫も、売買交錯が続きやすい

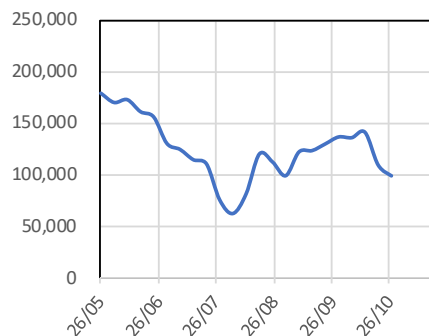
中東情勢の評価が定まらず、約3週間にわたって90ドルを挟んで売買が交錯する展開が続いているため、今週も値動きは安定しづらい。ただし、9月までと比較すると供給環境は改善傾向にあり、価格リスクは下向きに見ておくべきだろう。

湾岸諸国の原油輸出は、回復傾向にある。9月末にかけては戦争勃発前の水準を回復する場面も見られたが、10月はやや落ち着きがみられる。ただし、8月までと比較すると供給環境は改善傾向にあり、新たな供給障害の発生がなければ、90ドルを割り込んで推移する時間が増える見通し。

また、主要7カ国（G7）の石油備蓄放出については、国際エネルギー機関（IEA）が10月14～15日の理事会で詳細を決定する見通し。原油と石油製品の放出規模、どの国が放出を行うのかなどが明らかになると、改めて原油相場の上値が圧迫される可能性がある。また、ロシアが実際にディーゼル燃料の国際市場に対する供給を行うのか、ロシアとウクライナの間で「エネルギーに関する停戦」が本当に実現するのかにも注目したい。

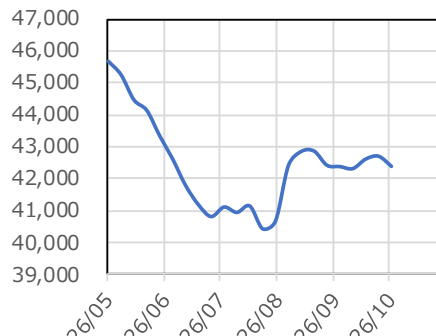
一方、中東情勢は安定化しているとは言い難い。イエメン武装組織フーシ派はサウジアラビアの空港などに対する攻撃を続けているが、石油関連施設やタンカーが攻撃を受けると、改めて供給不安の織り込みで90ドル台中盤を試す可能性はある。また、米国とイランの停戦協議に関しても、新たな動きはほとんど報告されていない。トランプ米大統領は米中間選挙前の対イラン攻撃を否定しているが、中間選挙後の大規模攻撃が警戒された際にも、買いが膨らむ可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



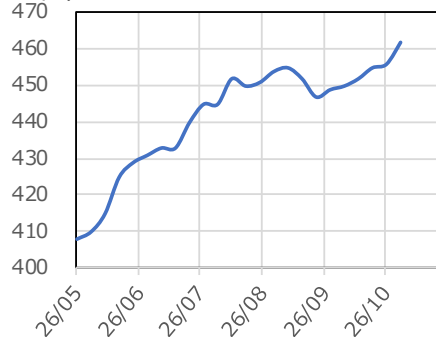
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

